


なごや歴まちびとと派遣体験発表会 (なごや歴まちフォローアップ講座第2回) 状況記録

	日時	平成 27 年 2 月 1 日 (日)	午前 9 時 30 分～11 時 45 分
	場所	名古屋国際センター4階 第三研修室 (名古屋市中村区那古野 1-47-1 名古屋国際センター)	
	出席者	参加者 19 名 (フォローアップ委員含む)、発表者 5 名、公社 4 名 (合計 28 名)	

司会の鈴木委員長より開会の挨拶

- 1 会長挨拶 9:30～9:35 なごや歴まちびとの会 会長 野村 昭男
第1回目講座を振り返りながら、今回も歴まちびとの有意義な発表会を期待する旨の挨拶あり。
- 2 派遣制度について 9:35～9:50 (公財) なごやまちづくり公社 主査 若杉 和秋
派遣対象建造物および派遣業務の流れ(募集、選定、報告等)の説明あり。
- 3 派遣体験発表

9:50～10:05 三輪邦夫氏・・・(15)緑区有松 服部良也邸 相談内容は耐震改修
旧東海道に面する住宅の中の離れ(所有者の祖父の隠居部屋)として昭和初期に建てられた住居は服部孫兵衛家の東隣に位置する。洋風石目調の外壁やステンドグラスが当時はモダンな建物であり、内部は折り上げ天井などの工夫も見られる。町並みに配慮しつつ、雨漏りや水回りの改善を図りながら、老朽化した建物の耐震化をしたいとの要望である。よって、伝統工法を活かした耐震診断、補強工事を行う事となった。主屋の増築であり、構造は複雑で納まりも悪いため雨が漏れやすくなっている。限界耐力計算での耐震診断を名古屋市に提出(24年度)、25年度には補強工事を行った。資料不足で調査も困難、基準法との整合性なども問題と感じている。

10:10～10:25 志賀勝則氏・・・(19)緑区有松 川村邸 相談内容は蔵の改修
旧東海道沿いの絞り問屋の奥に土蔵が二つある。(主屋は既に解体済み)嘉永年間と明治22年に建てられ、北蔵、南蔵と呼ばれ、今は住宅の物置となっている。これは、町並み保存地区の伝統的建造物に指定されているが、特に南蔵の土間底が崩落しそうでなるべくお金をかけないで修理したい。ここで、修理計画により、調査・設計をして報告し、派遣は終了する。これより、25年度調査・設計・積算に60万の支出(内補助金40万)、26年度南蔵修理に450万(内補助金220万)、又、27年度は北蔵修理を予定(28年度は未定)で800万(内補助金400)を見込む。有松地区の重要伝統建造物保存地区の指定予定等の問題もあり、着手していない部分は全体を通して3期～4期の工事の予定とする。(尚、金額は概算です。)

10:35～10:50 今井史朗氏・・・(20)熱田区大瀬子町 魚半別邸 相談内容は優先修理箇所の相談
料亭経営者の本宅として建てられた和館、洋館の2棟並びの建物である。大正13年(1924)築の2階建地下室付RC洋館と昭和3年(1928)築の木造2階建和館は認定地域建造物資産の補助制度を利用して修理し、保存したいとの要望である。(現在和館に居住して洋館を事務所に使用している利用者からも話を聞いている。)洋館のポーチ庇のクラック(補強柱を設置)、タイルの汚れ、開口部・手摺の錆びがあり、和館は西側広縁床の傾斜、建具の取り付け不良、建具・壁のすきまなどがある。現在、資金面での問題が多い為、応急処理のみである。今後は、耐震に対する不安もあり、全体計画をたて、長く保存するための根本的な修理が望まれる。

10:55～11:10 谷川照雄氏・・・(21)東区榎木町 大森邸 相談内容は図面の作成
主屋、離れで洋館・和館の3棟に門、塀がある。大正から昭和にかけての建物で名古屋市都市景観重要建築物であるが老朽化が進み、取り壊し予定のために実測・平面・立面図の作成を行う。主屋の壁は古民家で見られる土壁で現在は化粧合板仕上げとなっている。離れの洋館はモダンな雰囲気を残し、天井などなかなか手のこんだ作りで、改修すれば十分使用できると考える。調査は4名で行ったが、時間をかけて丁寧にしたいし保存活用が前提の調査

が出来ると良い。又、寸法の取り方、単位などの工夫も必要と感じた。尚、建物は元の所有者が売却し、新所有者により、取り壊しを待つのみである。

11：15～11：30 村上雅郁氏・・・(22)中村区名駅南 鳥久 相談内容は既存図のチェック

もとは名料亭で知られた「得月楼」の建物で明治17年(1884)に木造で建てられた。戦後に鳥料理の専門店になったが取り壊し直前である。業務は前調査図面の照合、目視による建物の状況および耐震の状況である。地下1階地上2階で平成6年の前回調査から変わっていないが堀川からの搬入口がなくなっている。2階広縁にはたわみが始まっており、地下は既に老朽化している。今回の調査に店主の協力はなかなか得られませんでした。歴史的価値の発掘などと違い、何か建築物の値踏みをしているような調査とうつる場合もあり、一考を要する。尚、この建物は残念ではあるが、その後、焼失してその姿はない。

意見交換

- ・4年に渡る歴まちびとの派遣経験による資料が出来ている。この派遣資料を可能な部分だけでも良いので歴まちびと全員が共有できるようなことを考えて、文字通り、フォローアップになると良い。
- ・派遣業務のあとで改修工事に歴まちびとが関わる場合があり、工事費用がネックになることがある。歴史的建造物については助成制度があるので、公社の須田さんに後日、助成制度の案内をして頂くことになった。
- ・耐震補強の相談ケースで、非破壊検査を余儀なく行う場合などでは不明な点も多く残される。これからは課題も多くなることが予測されることから歴まちびとが気楽に相談できるシステムが構築されると有りがたい。

4 閉会 11：45

名古屋まちづくり公社の宮崎様より、良い体験発表会との挨拶で終了する。

名司会の鈴木委員長には大変お疲れさま、有難うございました。

(文責：猪飼)

訂正：鈴木 2015/02/06

確認：猪飼 2015/02/27